

「令和7年度版日進市環境基本計画年次報告書(案)」に関するパブリックコメント実施結果について

意見募集期間: 令和7年9月1日(月)から9月30日(火)まで
提出意見者: 7名
提出意見数: 42件

意見 番号	意見者 番号	ページ	項目	意見内容(※意見内容は提出された文言のまま記載しています。)	市の考え方
1	2	【年次報告書】P9	3-1.脱炭素社会づくり	香久山西部と日進駅西の区画整理事業により、合わせて約900戸が生まれるという。また香久山西部では2つの大型店舗が誕生した。 そうしたゼロカーボンシティ宣言を行った日進市にとっての本当に大きなチャンスに対して、市が何らかの積極的なアプローチ、つまり建物の省エネルギー化、再生可能エネルギーの利用促進に向けてアクションを取ったのであれば、そのアクションの内容と成果を特記するスペースがあってもよかったのではないか。 補助金を用意しました、広報紙で告知もしましたという待ちの姿勢ばかりではなかなか成果につながりにくい。要は市はもっと攻めの「営業」を行えという老婆心も添えて、意見としたい。	所管課への貴重なご意見として承ります。
2	4	【年次報告書】P9	成果指標	各項目に3か年の実績一覧表がついていますが、2024年度だけでは進んだのかどうかわかりません。 新規事業は別として従前から制度のある補助件数とかは、2023年度の数値も()書きで入れてあるとわかりやすいです。	第2次環境基本計画は2024年度が開始年度となっているため、初年度分のみの記載となっています。来年度から2カ年、3か年分の記載となっていくものです。
3	1	【年次報告書】P12	●自動車の省エネ化の促進支援	・くるりんバスのEV化を名鉄に働きかける(又は共同事業とする)。 ※日進市は運輸部門のCO2排出量ウェイトが多いため効果的！	貴重なご意見として承ります。
4	1	【年次報告書】P14	●太陽光発電設備の導入支援	営農型太陽光発電の推進。(農業施策との相乗効果あり)	貴重なご意見として承ります。
5	6	【年次報告書】P16	(2)地産地消の活動の周知	地産地消の活動の周知、学校給食の地産地消の品目や量(kg)も明記してほしい。	貴重なご意見として承ります。

意見 番号	意見者 番号	ページ	項目	意見内容(※意見内容は提出された文言のまま記載しています。)	市の考え方
6	2	【年次報告書】P19及びP22	(3)二酸化炭素排出量の推移 <グラフ> 年間のごみ排出量、1人1日当たり家庭系ごみ排出量	まずP19のグラフからは日進市が典型的な郊外住宅都市のパターンであることがわかる。そしてP22のグラフでカギを握る家庭系、つまり市民の意識は高く、結果も出している。 これ以上何を求めるかと自分自身に問うと、本報告書にもある公共交通機関をできるだけ利用することが思い浮かぶ。 しかし市内は市役所に行くにしても、市民会館に行くにしても、図書館に行くにしても自分の車で行く。なぜか?くるりんバスが2時間に1本で完全な往復型といえないからである。それなのに「くるりんバスを始めとする交通手段のベストミックスで交通ネットワークの充実を図った」(P15)と言われると、認識の違いを痛感する。議会答弁でも「交通の便のよさが日進市の強みのひとつ」とあったが、それは地下鉄駅近くのごく一部の市民の感想でしかないのではないかな? 近いはずの公共施設、下手をしたら買い物に行くにも、結局はマイカーで行かざるを得ない日進市。ここはぜひ認識を改め、くるりんバスを真の市民の足とすることによって二酸化炭素の排出削減を実現されたい。	所管課への貴重なご意見として承り、情報を共有させていただきます。
7	4	【年次報告書】P19	(3)二酸化炭素排出量の推移	P19に、二酸化炭素排出量の推移が示されていますが、P9の成果指標との関連がない分析のように思います。 削減率46%の2030年まであと5年であることを考えると、いまだ削減率は不十分であり、より一層の努力が必要であることを記載してほしいです。 また各公共施設における削減率についても明らかにしていくべきではないでしょうか。デジタル化、空調使用によって学校における二酸化炭素排出量は増加しているはずです。その対策をどうしていくのかも入れるとよいですが、そこまで無理でもまずは現状を直視した数値を入れることは必要と考えます。	二酸化炭素削減率に関する記載については、年次報告書に反映します。 各公共施設における削減率については、地球温暖化実行計画(事務事業遍)の年次報告書に記載される予定です。
8	4	【年次報告書】P21	成果指標	成果指標の「リサイクル可能品目混入率」が0.6ポイントも上昇しているのに驚きました。他の項目もそうですが、成果指標に対しての分析コメントがないのはなぜでしょうか。増加した理由について分析と対策がなければ、目標値である混入率11.7%は達成困難ではないでしょうか。	成果指標の分析については、ご意見の趣旨を踏まえ検討します。
9	1	【年次報告書】P23	●生ごみ減量化の促進	生ごみを含む可燃ごみを減らすため、可燃ごみ収集袋を値上げする。 これによる増加収入は資源回収拠点の回収品目拡充に活用する。	貴重なご意見として承ります。

意見 番号	意見者 番号	ページ	項目	意見内容(※意見内容は提出された文言のまま記載しています。)	市の考え方
10	1	【年次報告書】 P24	●食品ロス削減の推進	フードドライブ事業をにぎわい交流館で毎月開催する。 (品種限定でも効果大) また、マチテラス日進でのイベントとして年複数回実施する。	貴重なご意見として承ります。
11	4	【年次報告書】P24	●食品ロス削減の促進	P24公共施設でのフードドライブの実績が少ないのは残念ですが、民間ストアでの実績も明記してください。	P24(3)にて民間事業者との実績について記載しています。
12	1	【年次報告書】 P28	●民間サービス等を活用した資源化の促進	学用品リユース促進のため、各学校でPTA等主催の交換会を定期開催する。	貴重なご意見として承ります。
13	5	【年次報告書】 P28	●民間サービス等を活用した資源化の促進	P28のあいさについては実家を出て子育てしている娘たちも里帰りするたびに子供服を買いに行き重宝しています。今後も続けて欲しいです。市内の中学校の制服とか体操服なども対象にしたらどうでしょうか。	貴重なご意見として承ります。
14	4	【年次報告書】P30	成果指標	P30市民意識調査において「生物多様性の大切さを意識している市民の割合」が減少したことはその理由の分析をする必要があります。おそらく身近に生物多様性に触れる機会が少なくなった事が要因ではないでしょうか。 令和6年度の区画整理事業による山林、森林伐採、農地減少は顕著で、これをどう回復するか真剣に取り組まねばならない時期にきています。ここも成果指標の分析コメントを掲載してほしいです。 北高上緑地や総合運動公園にプレーパーク機能を付加したり、五色園西部地区の市保有地を自然公園化する。 あるいは第1次環境基本計画にはあった親水公園やのんびり村の整備のような、自然と触れあえる場所の創出に向け、ぜひとも取組みを願います。	成果指標の分析については、ご意見の趣旨を踏まえ検討します。 自然と触れあえる場所の創出については、貴重なご意見として承ります。
15	5	【年次報告書】 P30	成果指標	P30の成果指標で生物多様性の大切さの認識が市民意識調査で22年から24年から55%から50%に下がっているがその理由の説明がないので加えて欲しいです	成果指標の分析については、ご意見の趣旨を踏まえ検討します。

意見 番号	意見者 番号	ページ	項目	意見内容(※意見内容は提出された文言のまま記載しています。)	市の考え方
16	5	【年次報告書】 P32	●生態系・生物多様性の重要性についての理解促進	P32以下の各種講座は市民対象であるが事業者にも対象を広げて欲しい。市内において土地を開発して住宅地整備や店舗建設など行う事業者や土砂を採取する事業者なども本市の方針を十分理解して事業を行うために市として事業者向け講座の受講を義務付けるなど必要ではないでしょうか。	P32以降に掲載されているESD講座等については、協働できる人づくりを目的とし市民向けに開催しているものです。開発事業者等の理解促進のための方策については、ご意見として今後の参考とさせていただきます。
17	2	【年次報告書】 P36	3-2 水・緑・自然を保全します	ここで3-2の内の単位施策に基づいて「こんなイベントを実施しました、参加人数はこうでした」という振返りを行うのも結構だが、それにより基本施策に掲げられている緑の保全はどうなったのかについて、例えば緑被率のデータ等の指標も掲載しないと、至近目標の達成 一喜一憂し、究目標である『人とみどりを人切にするまち』を置き去りにすることにならないか？ 実際緑被率の経年変化を探してみると、なんとここ10年強で10 %も緑が少なくなっている。 こうした現況に対する危機感を市は持っているのだろうか？日進市の強みはと問われた議会では「緑豊かなこと」をその一つに挙げていたが、30%ぎりぎりにまで落ち込んだ緑被率を前に何を根拠にそのような答弁ができるのであろうか？本当に日進市はまだ緑豊かなまちと言えるのであろうか？もうそれは残像であり、虚像でしかないのではないか？ 本報告書の1 - 1計画の策定にあたって(3P)には、「第一次計画は長期間の計画であったため市の施策・事業に対応できなくなってきた」「指標の目標設定に現実的でないものがあつたことにより目標達成率が低迷した」との記述もある。 また「都市化の進む地域での緑化推進」との文言も随所に見られる。素人目で見れば『都市化』と「緑化推進」は両立が難しいもののように思えるが、実は市は『都市化』を優先していて少々の緑被率低下には目を塞いでいるのではないか？そして本報告に緑被率の推移等の指標が示されていないのは、結果として目標達成率低下隠しになるのではないか。 そこで結論であるが、ここでの単位施策の立て方には二通りあると考える。 一つ目は「都市化を進めていけば、どうしても緑の後退は一定止むを得ない」というスタンスからの立て方。これであれば「異論のないことを粛々とやる」といういまの単位施策でも市民の緑に対する愛着だけは保てるかもしれない。 もう一つはあくまでも総合計画に掲げられた究極目標「人とみどりを大切に まち」を守り抜くとの強い決意に基づく立て方。どちらを選択すべきかはもう明らかであろう。 しかし後者の場合はここに挙げられた施策では当然生温く、コンサル丸投げではなく、全庁で議論を深め、市民の声も十分に反映し、それこそ根底から庁内の意識改革を行った上で基本施策・単位施策を改めることが必要だと考える。 いかがか？	環境基本計画は、総合計画をはじめ都市マスタープランや緑の基本計画などの関連計画と整合を図りながら環境分野における施策体系・取組を記載しています。計画の環境都市像において「住環境と自然の調和」を掲げているとおり、都市近郊の住宅都市として発展してきた本市においては、開発や保全について土地利用の方針を定めまちづくりを進めているところです。今後もこれらの計画との整合を図るとともに、関係部局と連携し、本計画を推進してまいります。単位施策の立て方については、次期環境基本計画策定にむけての参考とさせていただきます。

意見 番号	意見者 番号	ページ	項目	意見内容(※意見内容は提出された文言のまま記載しています。)	市の考え方
18	2	【年次報告書】P37、P15	●農地・ため池の保全 ●地産地消の推進	P37で紹介された農地ノバンクの取組みは遊休農地を活かすためのよい制度だと評価したい。しかも「借りたい人」が「貸したい人」の倍以上おられるということで、彼らが『生業としての農業』の担い手とまではいなくても、『景観としての農業』のよき後継者となってくれるのではないかと期待も膨らんでいる。 一方、地産地消(P15～16)という点では学校給食への日進産提供の拡大が一番手つ取り早いのではと思ったが、学校教育部の議会答弁を聞く限りでは、あまり積極的ではないように取れた。 日進市庁内は横の連携が全く弱いように感じているが、この件についても学校教育部と議論と協力を深め、ぜひとも地産地消を推進するよう望みたい。	貴重なご意見として承ります。
19	1	【年次報告書】P38	●東部丘陵地等の保全	北向上緑地全面保存に向けて、以下の様な積極的な施策を行う。 中部電力所有地の買収方針(1～2年程度先)を宣言し、財源の一部を地元企業及び市民から集める。企業版ふるさと納税、クラウドファンディングのほか、官民連携でのチャリティイベント実施(収益＝財源)も検討。	日進市都市マスタープラン・緑の基本計画で自然環境拠点に位置付けられている北高上緑地については、本計画においても5－3. 自然共生社会づくりにおいて保全する地域としているところ。今後も、引き続き自然環境拠点の保全を継続してまいります。
20	1	【年次報告書】P38	●東部丘陵地等の保全	いわゆる「東部丘陵」の自然保護啓発型活用策について、市民主導で早期に実現できるよう、市民・市民団体を対象にアイデアコンペを実施する。	貴重なご意見として承ります。
21	2	【年次報告書】P38	●東部丘陵地等の保全	昨2024年にスタートしたばかりの本計画から、環境目標3:自然共生社会づくりの単位施策「北高上緑地の保全」が消されてしまっている。 市の最上位計画=総合計画を受け、中期的見通しも立て、それなりのコスト(マンパワー、時間も含む)もかけたであろう7年スパンの基本計画がたった1年で改定される、これは説明責任があるのではないか。 7年スパンの基本計画はたとえ市長が替わろうとも、尊重を求める性格のものだと認識しているが、やはりP5の計画の進行管理の項に記載があるように「既存のものにとらわれず、臨機応変に対応」した結果なのか?それにしてもこれほど「機動性」を優先させる基本計画に基本と名乗る資格はあるのか。もういちど基本計画の在り方から問い直すべきである。	北高上緑地の保全については、計画書P46ページ④東部丘陵地等の保全において、豊かな自然環境を周知・保全するとしており、年次報告書P38において実績の報告をしているものです。
22	6	【年次報告書】P38	●東部丘陵地の保全	北高上緑地、現状の保全をしっかりと明記してほしい。 中部電力の用地を含めて今後も保全していくために市も積極的に役割をはたしてほしい。	日進市都市マスタープラン・緑の基本計画で自然環境拠点に位置付けられている北高上緑地については、本計画においても5－3. 自然共生社会づくりにおいて保全する地域としているところ。今後も、引き続き自然環境拠点の保全を継続してまいります。

意見 番号	意見者 番号	ページ	項目	意見内容(※意見内容は提出された文言のまま記載しています。)	市の考え方
23	7	【年次報告書】 P38	●東部丘陵地等の保全	「北高上緑地の里山体験講座」は、「市民に里山の自然に触れていただく機会を創出し、その保全の大切さについて知っていただく取組として貴重な取り組みだと思えます。 里山は、人の生活との関わりで一定の伐採や下草刈りなど、人の手が入ることにより人と自然の共生が維持されてきた貴重な場だと認識しています。 生活様式が変わる中で、また、住宅地に近いところで維持していくには、知恵や工夫も必要だと思えます。 いまの取り組みを大切にしながら、それを入り口として、保全の取り組みに市民が参加できるようにしていくことも大切だと考えます。仕事や何かと忙しい生活の中にある市民が、どうしたら保全に参加できるかを考えるのは大変だとは思いますが、保全の担い手づくりや北高上緑地を持続可能なものにしていくよう発展させていっていただけたらと思えます。	日進市都市マスタープラン・緑の基本計画で自然環境拠点に位置付けられている北高上緑地については、本計画においても5-3. 自然共生社会づくりにおいて保全する地域としているところです。今後も、引き続き自然環境拠点の保全を継続してまいります。
24	6	【年次報告書】 P39	(2)自然共生サイトの認定	湿地の保全、総合運動公園内にある湿地の整備をし、また開放してほしい。	貴重なご意見として承ります。
25	6	【年次報告書】 P39	(2)自然共生サイトの認定	東部丘陵の保全、開発の動きなどないか、など情報提供もしながら、市民と一緒に守っていくことを方針し、めいきしてほしい。	貴重なご意見として承ります。
26	5	【年次報告書】 P41	成果指標	P41で公害対策に対する満足度が低下しています。原因と対策を示すべきではないでしょうか。	貴重なご意見として承ります。
27	6	【年次報告書】 P43	●環境調査・監視等の実施	自動車の排気ガス調査、道の駅でもやってほしい。	貴重なご意見として承ります。
28	5	【年次報告書】 P48	資料編	資料編を独立させ日進市の環境のデーターを一覧でみられる「日進市環境白書」のような冊子を発行してはどうでしょうか。例えば気温、降雨量、河川やため池の水質、典型的な場所の大気汚染や騒音などなど。事業所との公害防止協定と各種排出データーも。交通量調査の結果も。市の施設でも下水処理場の廃水の水質など。	貴重なご意見として承ります。

意見 番号	意見者 番号	ページ	項目	意見内容(※意見内容は提出された文言のまま記載しています。)	市の考え方
29	2		その他	広い竹林を消し、里山ひとつを削りといった大規模な区画整理事業がまだ完工しないうちから、議会でも北部地区の区画整理事業が議論に上るようになってきている。こうした大規模区画整理事業ラッシュと緑被率の減退に相関関係はないのだろうか？ いや、土地区画整理事業施行基準によると確保しなければならない公園(緑地)面積は事業総面積のわずか3 %に止まるのであるから、相関関係はむしろ大ありといえよう。 そこで本報告書の随所に散見する「都市化の進む地域での緑化推進」であるが、これまた議会答弁では「日進駅西の事業地ですでに取組んでいます」ということになるのであろう。 しかしこの事例は、区画整理事業そのものでは3 %を確保できなかったのも、私有地である「各戸の法面や駐車場の隙間にでもなんとか緑を」というお願いに過ぎないのではないのか？ いわば窮余の一策であろう。 日進市に住み続ける限り都市計画税を徴取され続け、それを財源にした開発で愛着ある緑が削られるとは、市民は全く踏んだり蹴ったりである。 市が本気で都市化と緑の保全の両立を目指すなら、最低限区画整理事業に対する補助金交付条例の改定(現行:道路+水路+公園の合計面積が事業総面積の22 %以上)を提起するなどにより、少しでも緑のスペースの確保に向かえるよう求めたい。	貴重なご意見として承ります。
30	2		全体	P1には「第1次の計画は長期にわたるものだったから、市の施策・事業に柔軟に対応できなかった」という旨の一文がある。ちょっと待った。この環境基本計画は、市の総合計画を受けた環境分野の、いわば憲法なのではないのか？市の環境分野の施策・事業はこの基本法に従い決定・施行されるという関係性ではないのか？もっとも憲法も改正されることはあるので、葵のご紋のように「下がりがおれ」というつもりはないが、そもそもの考え方が主客転倒してはいないか。 このP1の続く一文にも大きな疑念と不安を抱く。「目標設定が現実的ではなかったから、目標達成率が低迷した」？！本当にそうなのか？目標達成に1歩でも近づくような予算編成を行ったのか？道の駅、スマートインターという巨大事業に躍起となり、環境部門にはお金が回りきらなかったのではないのか？ 本報告書にも散見する「都市化の進む地域での緑化の推進」という手品のような戦略、これが圧倒的にバランスが悪く、いろんな目標に対して達成利率の低下を招いたとしか思えない。今後も開発に重点を置く姿勢が続くようであれば、「緑豊かな日進」は「幻想になるようにしか思えない。	環境基本計画は、総合計画をはじめ都市マスタープランや緑の基本計画などの関連計画と整合を図りながら環境分野における施策体系・取組を記載しています。計画の環境都市像において「住環境と自然の調和」を掲げているとおり、都市近郊の住宅都市として発展してきた本市においては、開発や保全について土地利用の方針を定めまちづくりを進めているところです。今後もこれらの計画との整合を図るとともに、関係部局と連携し、本計画を推進してまいります。

意見 番号	意見者 番号	ページ	項目	意見内容(※意見内容は提出された文言のまま記載しています。)	市の考え方
31	3		その他	今まで日進市がどんな取り組みをされているか、知ろうとしていませんでした。なのでこういったことを書くこともありませんでした。 今は子どもが増えており、赤小も増築していますが20年後には未来を担う若い人たちが減少してくると想像できます。 マチテラス日進を造ったこともあり、予算も厳しいのでしょう。 どこに優先的に予算を使うか、決めきれてないのかなと思います。市の政策に実現性のある内容にすることを求めます。今の計画案にはそれがない印象を受けました。 計画としては本当に実現したらどんな素敵な市になるだろう、と思います。 実際にはどこを優先して進めるか決めているのでしょうか、そういったことは書いていないようなので、この膨大な計画の何から手をつけるのか読み取れませんでした。 20年後、私たちは生きているかもわかりませんので、子どもたちが、日進市で生活したいと思えるような町にしたいです。 それには私たちが何かできますか？ごみを減らす、とかでしょうか？そういった働きかけをしていこう、とかも書いてないように思いました。読み取り不足でしたらすみません。 日進市は市民活動が盛んだと聞いています。そういった特徴を活かすことはできないでしょうか？毎年数人参加するような単発の会を行う啓発も多少効果はあるかもしれませんが、今ある市民団体さんと協働して、取り組んだら予算も安く済むのではないのでしょうか？ また、中長期計画に何年までに何をどこまでやるか、をもう少し決めておくのが良いと思います。 それから、その中長期に合った短期(1-5年)の計画を立てる、それを見せてほしいです。 例えば計画案にありました、ゴミを削減します、ですが、何年までに何トンに減らすとか、それに向けた計画案が見当たりませんでした。既にあるなら参照先リンクを載せるとかしていただきたいです。 ないならいつまでに作成するとか、決めないと進みません。計画とするならそのあたりまで公開してほしいです。 時は流れて忘れられたり課題でなくなる案件もあるかもしれませんが、本件は遅れれば遅れるほど、取り返しがつかなくなります。	短期目標の設定については、次期環境基本計画策定にむけての参考とさせていただきます。

意見 番号	意見者 番号	ページ	項目	意見内容(※意見内容は提出された文言のまま記載しています。)	市の考え方
32	4		全体	P5に示している通り、「第2次環境基本計画」の進捗管理としては「OODAループ」の考え方を取り入れるとしています。しかしこの年次報告書の分野別実施状況を見ますと、令和6年度に何をしたのかという実績は示されていますが、状況をどう分析し、次に向けてのアクションを選択したかがわかりません。 従来のPDCAサイクルにも適合した進捗管理ではないように思われますが、それでは各成果指標はなかなか目標に到達できないのでせめて最後に「本年度の総括」を掲載し、次へのアクションが見える化してはどうでしょうか。	ご意見の趣旨を踏まえ、年次報告書に反映します。
33	5		その他	市広報で意見公募のお知らせを見ましたが意見書様式について文章で書いてください。	貴重なご意見として承ります。
34	5		その他	ホームページを見られない人のために案の閲覧場所を増やしてください。	パブリックコメントについては、市の統一的なルールに従い、ホームページの他に市役所環境課窓口及び情報公開窓口にて公開させていただいています。
35	5		その他	意見公募期間が30日間ですがもう少し長くしてその間に報告書の説明会とか意見書の書き方とかの勉強会をして欲しいです。	意見の公募期間については、パブリックコメント制度の運用に関し市として統一的なルールを定めており、1ヶ月程度を目安としています。 頂いたご意見は今後の参考とさせていただきます。
36	5		その他	年次報告書までパブリックコメントを実施しているのはいいと思います。	事業の取組状況について市民の皆さまに公表し、意見をいただきながら計画の進捗を管理することが重要と考えています。
37	5		その他	この報告書の中で取り上げられている市民団体(p1)にパブリックコメントの意見を寄せるように案内して欲しいです。	貴重なご意見として承ります。
38	5		その他	各種野生生物が増加しています。科学的に実態を把握し記録し対処方法も示せるように求めます。	貴重なご意見として承ります。

意見 番号	意見者 番号	ページ	項目	意見内容(※意見内容は提出された文言のまま記載しています。)	市の考え方
39	5		その他	東部丘陵の開発の可能性が無くなっていません。市は県とも協力して東部丘陵を取得し自然公園化して欲しいです。東部丘陵は天白川の源流の一つでもありC02削減や保安林として河川の氾濫防止機能もあります。開発されれば永久に元には戻りません。日進市が日進市でなくなってしまうです。	東部丘陵の環境保全型自然公園整備については、散策路の周辺除草を実施するとともに、愛知県に対し岩藤新池の第2期地区工事の要望を行っています。
40	5		その他	北高上緑地の中部電力所有地の取得を進め北高上緑地を現状のまま保全して欲しいです。	日進市都市マスタープラン・緑の基本計画で自然環境拠点に位置付けられている北高上緑地については、本計画においても5-3. 自然共生社会づくりにおいて保全する地域としているところです。今後も、引き続き自然環境拠点の保全を継続してまいります。
41	6		その他	道の駅や道の駅周辺の駐車場整備などでなくなった田んぼ、畑の影響はどうか、なくなった田畑の面積、環境の変化をしめしてほしい。	道の駅整備に伴う環境への影響評価は、年次報告書で取り扱うものではないと考えています。
42	6		その他	日進の田畑の現状、農家、市民農園の現状と目標があればいいとおもう。	貴重なご意見として承ります。